

「eラーニング導入プロジェクト管理技法（人材開発やeラーニングプロジェクトを推進するために）」

講師：ビジネスブレークスルー大学 経営学部 准教授

株式会社JIN-G 創業者 代表取締役社長 三城 雄児 氏

1) イントロダクション ～プロジェクトマネジメントとは何か

- ・プロジェクトマネジメントはビジネスの段取り術
- ・プロジェクトマネジメントが必要な世界
- ・人事担当者へのプロジェクトマネジメントの必要性
- ・eラーニングにおけるプロジェクトマネジメントの必要性
- ・プロジェクトとは
- ・プロジェクトの4つの段階
- ・本講座で学ぶこと「ナレッジ」「スキル」「マインド」
- ・プロジェクトは「失敗＝学び」の宝庫
- ・経験学習サイクル
- ・自己のプロジェクト経験を振り返る

2) プロジェクトの企画 <基礎編>

- ・プロジェクトの企画段階で実施すること
- ・プロジェクトの意義を考え抜く
- ・プロジェクトの目的と目標を明文化する
- ・（参考）目標に「お守り言葉」を使わない
- ・メンバー選定 誰とやるかは重要
- ・リスクマネジメント 想定内を増やす
- ・（参考）リスクマネジメント一覧表をつくり「想定内」を増やす
- ・プロジェクト憲章をつくる
- ・人事担当者はTo Beが苦手
- ・プロジェクトの実施を決定する
- ・プロジェクトの撤退基準を決めておく

3) プロジェクトの企画 <応用編>

- ・プロジェクトを立ち上げる
- ・プロジェクトの真の目的を感じとる
- ・プロジェクトの真の目的を感じとる技法 ージャーナリングー
- ・存在意義を全員が感じるプロジェクトチームづくり
- ・コミットメントのあるプロジェクトチームを実現する
- ・自社でコミットメントできるプロジェクトを見つける
- ・ディスカッション コミットメントできるプロジェクトを見つける

4) プロジェクトの計画 <基礎編>

- ・プロジェクト計画書をつくる
- ・WBS：Work Breakdown Structure
- ・WBSの例

- ・ガントチャート
- ・想定日数とバッファの設定
- ・クリティカルパスの検討
- ・プロジェクト体制
- ・役割分担
- ・（参考）役割分担の例
- ・工数見積り
- ・予算計画

5) プロジェクトの計画 <応用編>

- ・PDSはサイクル
- ・ウォーターホール VS アジャイル
- ・ヒエラルキー VS ホラクラシー プロジェクト体制をどうするか？
- ・組織モデルの違いとプロジェクト体制
- ・予算・工数とスコープマネジメント
- ・計画の副作用

6) プロジェクトの実行 <基礎編>

- ・ディスカッション 組織モデル別の最適プロジェクト体制のあり方
- ・プロジェクトが計画通り実行されるために
- ・キックオフミーティング
- ・進捗管理
- ・（参考）週次進捗管理表の例
- ・（参考）EVM（アーンド・バリュー・マネジメント）
- ・変更管理
- ・（参考）変更台帳の例
- ・課題管理
- ・中間報告会
- ・集中討議会

7) プロジェクトの実行 <応用編>

- ・プロジェクトの実行段階で必要なスキル
- ・ミーティングは発散から収束へ
- ・ミーティングファシリテーション
- ・行動分析学でモチベーション向上
- ・アサーティブコミュニケーション
- ・コンフリクトマネジメント
- ・人事担当者が現場を巻き込むための方策 — 推進派を増やす活動
- ・ディスカッション ミーティングの改善を実行する

8) プロジェクトの終了

- ・プロジェクトを評価し、組織にナレッジとノウハウを還元する
- ・完了報告
- ・プロジェクト評価

- ・プロジェクトの振り返りができるチームとできないチームの違い
- ・学習する組織 成長し続けるチームづくり
- ・プロジェクトはなぜ同じ失敗を繰り返すのか
- ・メタ認知
- ・プロジェクト・リフレクション・ラウンドテーブル

9) まとめ

- ・総括